はくぶつかんの部屋 74

市立博物館イメージキャラクター 天女ちゃん



博物館にねむる文化財

11月に入り、秋も深まってきました。今月は「琉球歴史文化の日」や「文化の日」といった文化を記念する日が続いていますので、今回は、博物館で大切に保管されている「文化財」について紹介したいと思います。

本市における指定・登録文化財は全部で29件あります。例えば、市立博物館の隣にある「森の川」は、県指定の文化財（名勝）です。また、「明治土地台帳附属地図」といった明治時代に土地調査のために作成された紙の歴史資料も市の文化財に指定されています。そのような目に見える形で存在する文化財がある一方、「モノ」ではない無形の文化財も存在します。普天間と大謝名の獅子舞がその一例です。市内においては、二つの字でムラの魔除けや繁栄を願う獅子舞が戦前から受け継がれてきました。この伝統的な行事が市の無形民俗文化財として指定されています。

文化財は、宜野湾の歴史や伝統文化を伝えてくれる貴重な存在ですが、そのままの状態では劣化や変形、消失してしまう可能性もあります。そのような事態を防ぐために、博物館にて原物（オリジナル）が保存・管理されている文化財もあります。先ほど紹介した「明治土地台帳附属地図」や、伊佐浜にあった橋の記録となる「佐阿天橋碑」の原物は、市立博物館の収蔵庫に保管されています。その他、33年が経過すると燃やされてしまう大謝名の獅子ですが、役目を終えた二代目の獅子は、文化財を伝える資料として博物館に保存されています。

また、原物を保管できない場合でも、複製（レプリカ）を作成するなどして、現状を記録し、展示することも博物館の大事な役割です。常設展示室で展示されている小禄墓の石彫香炉や獅子がその例です。

現在、市内にある文化財を紹介する企画展が、市立博物館で開催されています。「ぎのわんの指定文化財展」（会期：27年1月17日まで／場所：企画展示室）と「レンズが捉えた伝統～宜野湾の民俗芸能写真展～」（会期：12月20日まで／場所：ロビー）が開催中です。この機会に、市立博物館で文化を学ぶ秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲写真① 地下収蔵庫にある佐阿天橋碑の原碑



▲写真② 特別収蔵庫にある大謝名の獅子



▲写真③ 常設展示室で展示されている小禄墓の石彫香炉（左）と獅子2体（右）の複製

はくぶつかん情報

野外講座受講生募集！ 心安らぐ湧き水めぐり

マイクロバスと徒歩で、市内の代表的な湧き水をめぐります！

▼講　師　平敷（へしき）兼哉（けんや）（市立博物館 館長）
▼日　時　12月6日（日）12時30分～16時30分（受付12時～）
▼集合場所　市立博物館 ロビー
▼参加費　50円
▼定　員　25人
▼申込期間　11月15日（日）9時～
※定員に達し次第締め切り

室内講座受講生募集！ 古墓を掘る

市内の古いお墓について、発掘調査で分かったことをお話します♪

▼講　師　長濱（ながはま）健起（たつき）（市立博物館 係長）
▼日　時　12月20日（日）14時～16時（受付13時30分～）
▼場　所　市立博物館2階　研究室
▼参加費　無料
▼定　員　40人
▼申込期間　11月29日（日）9時～
※定員に達し次第締め切り

※タイトル等は変更となる場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

問申 市立博物館 ☎870-9317
※休館日：火曜日・祝日
※開　館：9時～17時（最終入館は16時半まで）